国家論

早稲田大學圖書館

特別
ヌ6
9291
3

[illegible]

7.6
9291
3

早稲田大學圖書館

八水田印行

<97-213>

国家論

一、国家論ハ何ヲ研究スルカ

一、研究部面 — 科学的検討 — 前科学的価値判断ヲモチヒアズ

イ、国家ノ本質 ‖ 権力 — 神秘性 — 社会トノ差違 — 歴史的意義

ロ、国家ト社会的諸関係 ‖ 階級（資本主義）— 民族 — 個人 — 経済 — 文化

ハ、国家ノ形式 ‖ 政府 — 議会 — 司法 — 法律 — 政党

ニ、国家ノ発生、成立、過去、現在、将来（歴史的過程）

ホ、国家ノ哲学 ‖ 倫理性 — 自由 — 世界国家 — 人性

ヘ、社会主義ト国家

ト、近代国家ノ分析

二、東洋ニ政治哲学アレドモ国家論ナシ

(1)儒教ノ法家権力哲学ノ

(2)東洋社会＝家族主義的社会ノ個性自覚ナシノ階級闘争ナシ、

他国家トノ対立ニ於テ自国家ヲ覚醒スル国経ナシ

三、西欧デ国家論ノ発達セル理由

(1)十六世紀以来、英仏其他ノ大国家ノ成長、相互競争、自意識

(2)ル(ネッサンス)以来ノ個人ノ自覚ノ個人ノ自由ト国家権力トノ間ノ矛盾、之ヲ解決スル現実的必要ガ社会契約其他ノ学説ヲ生ム

(3)資本主義ノ発展ト之ニ伴フ判断カアル階級ノ発展

経済変動ニ見ル階級対立ノ激化ノ国家ガ富者ノタメノ搾取器（?）コト鮮明トナルノ階級搾取絶滅ノ社会主義ノ国家批判

四、十九世紀以来、歴史的実証主義的考察ノ起ルト共ニ国家学モ社会科学トナル

二、国家ノ本質

一、国家ハ歴史的発展物ナリノ変化ノ国家ハ消滅モス

二、国家ハ社会ノ補助物ナリ（社会ト不差区）

三、国家ノ本質ハ権力ナリ

(1)権力、国民、領土ノウチ権力最モ重シ

(2)権力ノ様態

支配ノ暴力、征服、抑圧、奴隷化、排他、抑圧

指導ノ教育、組織、訓練

(3)国家ハ力ノ組織ナリ

四、国家ハ内部ニ社会群ノ権力斗争ヲ含ム矛盾的統一ナリ

五、国家成立ノ基盤ハ民族ナリ

(1)国家ガ利益社会ニナラウトスル（諸々グループノ斗争ナレバ）

(2)共同社会ノ性格ヲモツハ民族アレバセ

(3)近代国家ハミナ民族国家

学者ノ（独裁）国家ノ民族ハ離散的—一国ノ世界斗争ニ協働性ガ増ス

六、国家ハ文化ヲ保障スル

(1)国家成立以後ニ文化ガ増エタ

三、国家ノ歴史的発展

一、原始社会ニオケル権力ノ発生

(1)争ハ（戦争）、生産、戦争、祭祀等ニツイテ指導者ノ出現—

(2)権力ハ経済ニ選（古代）挙（酋長ノ一族）—首長モ世襲ス—社会主リ

遊離セズ

(3)世襲—民衆トノ対立—貴族（豪族）ノ共有地操奪—奴隷ノ所有—高群

ノ私有—宗教化—呪術者的君主

二、古代征服国家

(1)戦ノ虐殺—生産力ノ増進—奴隷—貢物—

(2)同一国土ニ住ム—人種的対立—征服者ト被征服者（奴隷化）—

貴族ト自由民ノ御権君主—将木、生殺与奪—貴族等ノ権力

斗争（蘇我物部）—自由民ト奴隷トノ混合トシテノ農奴—

三、中世封建的国家
(1) 分化的意味アリ — 民族ノ未生
(2) 権力分裂 — 小国家 — 少数ノ傭兵軍隊組織
(3) 土地中心 — ギルド制 — 身分制 — 自足経済

四、近世資本主義国家
(1) 資本主義ノ発達 — 重商主義 — (自由主義) ブルジョア階級ノ成長 — 王様地主トノ争 —
(2) 民族ノ成長 — 人種的統一 — 専制君主ノ出現 — 民族競争
(3) 世界市場競争 — アジアノ植民地 — (二大国家競争)
(4) 自由主義 — 民主々義 —
(5) 近代国家ノ三段階

四、近代国家
(1) 自由主義的資本主義段階ノ国家

一、資本主義 — 私有、利潤生産、階級対立、搾取、資本ノ優位、一切ノ商品化、(一切ノ)貨幣的評価、企業、無秩序、合理主義、個人主義

二、特徴
(1) 国家ノ階級性が増ス
(2) 国家ノ組織性が増ス
(3) 国家ト個人ノ関係が提出サル
(4) 国家ニオケル民族ノ役割が増ス — 国家ノ中核体ノ協同性 — 国家ニ対スル排外性ガ増ス

三、近代国家ハ個人ノ自由ト民主々義ヲキソトスル — 個人ノ自由権 —
人民ニヨル、人民ノタメノ、人民ノ政府 — ブルジョアノ封建勢力ノ打倒ノタメデアッタニセヨ、偉大ナ近代ノ獲得物 —

四、統一国家ノ成立
(1) 権力ノ統一性（主権ノ不可分、絶対、永）
(2) 国民ノ成立、領土ノ成立
五、憲法政治
六、法治主義
七、三権分立（立法、司法、行政）
八、議会ガ政治ノ中心トナル
九、個人ノ自由権
一〇、政党競争
一一、国家形態
(1) 民主共和国
(2) 立憲君主国 — 英、オランダ、君主制ヲ否定シ共和政体 — 君臨スレド統治セズ

一二、自由放任ノ夜警国家
（独占資本主義段階）
一、独占資本ノ帝国主義段階
独占ノカルテル、トラストノ発生 — 労働階級ノ反抗 — 民主々義ノ反動化
二、行政権力ガ議会ヲ圧倒ス — 資本家層 — 主権ノ所在ガ資本家ニ移ル
— 大統領 — 独裁者ノ権限大トナル — 統率化、独裁化
三、政治ノ反動化 — ブルジョア民主主義消滅
四、対外競争、世界分割戦争 — 二回ノ帝国主義戦争
五、社会主義政党ノ出現、労働者ノ増大

(3) 社会化過程的資本主義ノ段階

一、社会化過程 ― 統制経済ト計画経済 ― 軍需 重要産業国有 ―
完全雇傭ト社会保障制 ―

二、国家ガ計画経済ノ主体トナル

三、国家ガ社会政策ノ主体トナル

四、二十世紀憲法 ― 社会的権利ヲ認ム ― 所有権ハ義務ヲ伴フ

五、国家ノ新シイ役割 ― アラユル社会生活部門ニ亘ル

六、国民投票、リコール制、労働権

七、社会主義政党ノ労働組合ノ役割

五、社会主義国家

一、国家ノ政治的役割ト経済的役割
(1) 政治的 ― 経済、訓練、組織化 ― 社会グループ間、集団ノ調和 ―
文化ト産業ノ保障 ― 個人ノ自由ノ保障
(2) 経済的 ― 階級搾取 ― 階級対抗思想 ― 戦争

二、政治的役割ヲ失ヒ経済的役割ヲ強ル

三、社会主義革命
私有廃止ト公有ト社会的生産(計画経済) ― (国ノ計画経済ト
選挙 ― 労働ノ量ニヨル分配 ―

四、国家ノ階級搾取機関タル面ノ消滅 ― 階級ハ社会的労働ノ分配組織トナル

五、自由ガ平等ニナル ― 近代的観念ト保存ト界限 ― ソ連ノ独裁主義ハ中共ヘノ過渡

六、計画経済——ソ連ノ御発明ナリ
七、政治ソヴエトハ全勤労者ニキソヲ置ク、議会デナクソヴィエット——
八、生産的活気ニミナギル国家——共産主義ニアラズ
九、民族的友愛ヲキソトスル世界共産連邦——一国的現像ノ発展主義——ソ連中心主義ナリ
一〇、国家ハ死滅セズ
(1)国家死滅説ノ実態
(2)スターリンノ「一国共産主義」ノ思想
(3)一国的現像ト民族的矛盾ノ統一ニ於ケル発展系統——
民族ハナホ無クナラズ
一一、国家ノ社会化
一二、東洋諸国ニ於ケル民族的要求ノ重要性

六、レーニンノ国家論批判
一、レーニン「国家ト革命」ノ二要点
(1)マルクス階級国家論ノ継承
(2)ソヴエート権力、~~[illegible]~~必然的プロレタリア独裁ノ合理化ヅケ
二、階級国家論ノ欠陥
(1)権力作用ニオケル階級搾取ノ面ノミヲ見テ指導作用ヲ見ズ
(2)階級ヲ見テ民族ヲ見ズ、国家ノ民族的結構ガ必然ノ階級的[illegible]ノ民族性ヲ無視シタ
(3)階級国家論ハ国際主義トナル、祖国ノ否定
三、マルクスノ直接独才トレーニンノ~~[illegible]~~ソレトハ違フ
(1)マルクス——西欧的ノ自由ノキソ
レーニン——ロシア的——独才ノ為ノ独才
(2)独才主義——国家萬能ニ陥ル
四、事実ノ党独才

七、ソ連国家ノ批判

一、資本主義ノ価利タトル帝国主義段階
二、人民ニ自由ナシ——
三、中世的独才主義——
四、隣国主義——
五、ソ連中心主義——
六、民族的友愛ナシ——
七、共産主義ハ作国御中心思想ナク、現実ニハアメリカニ対抗スル
ソ連ノ政治——
八、事実上ノ不平等——エキスパート主義
九、ソ連中心的共産主義ト民族主義的共産主義運動——バルカン
一〇、学ブベキモノ——ソヴエート体制——計画経済——集団統制——
純粋主義——
一一、党ノ独才——ポリトビューロー——共産党ノ大会ナシ
一二、反民主主義

八、国家哲学

一、国家至上主義
(1) 倫理的 ― プラトン
(2) 観念的 ― ヘーゲル
(3) 人種主義的 ― ヒットラー

二、民主主義的個人主義的学説
(1) 社会契約説
(2) 自由主義的 ― 夜警国家

三、社会学的国家観
(1) 社会学的国家観
(2) 階級国家論
(3) 多元的国家観 ― コール、ラスキー

四、国家否定学説
(1) アナキズム
(2) 共産主義
(3) キリスト教
(4) ストア

九、マルクス國家觀

一、若イ労働者ノ激情的ナ暴力的乃至ハ思想的要因

(1)資本家ハスベテ企業家ニシテ之ヲ含メテ搾取者、無産階級ノ寄生者ナリトノ観念、国民全体的ニハ有害無益ノ存在、トイフ共産主義経済、階級観ノ誤ル所也

(2)オモニハ階級国家観 即チ国家ハ優勝セル階級ノ他ノ弱小階級ヲ搾取セルキカンデアリ暴力ヲ本質トスルトイフ考ノヘ

以上ニマルクス主義ニ責ムベキ有ル

(3)以上ヲ見テモ分ルヨウニ 國家ノ本質並ニ国家ニオケル労働者ノ地位ニ関スル理論的解釈ハ大衆ノ政治行動ニ大ナル関係ガアル、

[illegible]

二、マルクス国家観ニオケル伝統的思想材料

(1) 社会主義思想史ノマルクスノ地位——変革（修正思想ノ集積）——
プロレタリアートノ新概念——社会主義ノ新概念——国家ノ新概念

(2) 伝統材料

(1) フランス——

(1) フランス革命カラノ伝統（左翼フランス共和革命）

(2) ブランキズム 暴力革命ノ独裁主義

(3) 階級ト国家学説

(6) ドイツ——

(1) ヘーゲル

(2) 国家哲学 統合（[illegible]）

○世界観ノ史観——唯物史観
○政治学——市民的伝統ト
○政治学——階級国家論
○社会主義 経済論
○[illegible]

剰余価値ノ直接 搾取 [illegible] 支配関係 [illegible]

(4) 英ノ系

(1) オーエン主義ノ階級意識ノ影響

(2) エーリッヒヤ社会主義カラノ影響

三、マルクス国家学説

(1) 国家ノ本質 暴力ナリ、但シ権力トハ解ス、（権力ト暴力）

(2) 国家ヲ階級支配ノ手段トナス

(3) 国家ハ社会ノ中ノ階級ナカラ社会ヲ超越シテ立ツ
タトナス 国家ハ [illegible] 公共地盤トナツテイル、ブルジョア階級
国家ハ市民社会ノ [illegible]

(4) 階級的支配ノ撤廃サレ、越ヘ国家ハ死滅スル

(5) 国家ヲナセトイフ
革命ハ暴力ノ外ナシ

(6) 物質生産條件ニプロレタリアート意識ガ支配スル
(7) 国家ハ死滅スル

(四) 批判

(1) マルクスハ権力主義者ナリ、国家否定者ニアラズ、集産主義的国家主義者、

○近世ニ於ケル国家否定論者

自由主義——国家ノ権力ヲ制限セントス。個人ノ自由維持。

アダムスミス——(フィジオクラート)ケネー——チュルゴー——フンボルト、

協同主義的経済主義

フーリエ

アナキスト——ゴッドウィン——プルードン——スチルナー——バクーニン

○国家強化論者

△僧侶ガ支配ニタイスル反抗——大衆ガ坊主ニ反射——

ジャコバン党——国家ノ権威——最大権力——

△ボナパルト独裁——独裁主義

△ボリシェビキ——強力ナ国家主義体制——相対主義へノ防禦トシテ

△ムッソリーニ——ロベスピエール——バブーフ——ビュオナロッティ

△ヘーゲル——ジェーリング

△ラッサール——

○マルクスガ権力主義者ナル所以

(1) 権力ヲ以テ労働者ガ資本主義ヲ倒ス革命ヲ伸フ

(2) 権力ヲ以テ社会主義ヲ実現ス

(3) 権力ヲ以テプロレタリア独裁ヲ伸フ

(4)「人民国家」(リープクネヒト、ゴータ綱領)ノ肯定

(5) 国家ノ統制ヲ実際経済ノ勢力ノ権力ヲ中心ニ研究シ

○批判

(1) 国家ノ本質ヲ権力ニ於テ把握スルハ不可ナラズ

(四) シカシ彼ノ権力トハ暴力ナリ
(5) 国家権力ノミガ合法的暴力ヲ用ヒ得ルガ（軍隊警察ナドノ大ナル力、暴力組織）、完全
(6) 国家ノ本質ヲ階級支配ノミニ見ルノ非
(1) 民族ヲ無視ス——国家ノ基ニ民族アリ——権力支配ノ影
結構ヲ緩和スルハ民族ナリ——民族（民族的結合）政治的経済的ニモ統制
的存在ナリ
(7) 民族ノミガ一史ノ動力ニアラズ
(8) 権力の階級的作用
(8) 国家ト社会トノ関係ニ於テ国家ヲ大史性ニ於テ把握スルハ
正シイ、シカシ社会ガ変ズレバ国家ガ直ニ変ルトスルハ機械的
観念論ナリ。国家ハソレ自身トシテノ存在ト権能ヲモツ、独自ノ
能動的ナ実在ナリ、国家ハ社会生活ノ統御者タル普遍的ナリ
完全ナル[illegible]存在ナリ、

革命的階級ノ社会構造ガ階級的支配ヲ強化シテヰル。各国ノ国家ハ階級的
トシテ存続ス、国家ハ上ヨリノ有機的国家ヲモツ、国家
ハナクナラズ、世界ノ階級ガ統一サレルノハムシロ国家ノ力ニ従ツ
(4) 世界国家的階級国際ハ不可能ナリ、各国家（民族）ハ自己ノ利益ヲ
中心トシテ行動ス、階級モ利ニヨリテ行動ス、自国内デモ階級
統一不可能ナリ、況シヤ全世界ニオイテヲヤ
(5) 革命ハ暴力革命ノミノ論ノ非——マルクス暴力革命論ノ実
——フランス型ナリ——一揆主義ナリ——然シマルクスハ之ヲ明瞭
帰レトナス——民主型暴力革命ト選ブ——特ニ操ハ容易ニ
之ハル、従ッテ一応ノ暴力性アリ、——シカシ平和的ニ又議
会的ニ行ハルコトモデキル——

(6) プロレタリア独裁後モ統合論

五、レーニン・スターリンの国家論

(1) レーニンノ「国家と革命」― マルクス説ヲ繰リ返シソレヲ一ト独自ニ説明ス（合理的ニ強化）

― 革命ノ根本問題ハ権力ニアリ ― 中世的権力ノ奪取 ―

(2) 民主主義ノ本質ヲ根本的ニ徹底トス ― 権力ハ所有制ナリ

(四)（ルイス・フィーレヤノ息子 ― 岩田士安 大統領選挙ヲ経ル(止)）

(3) ソヴィエットノ選挙 ―

(4) レーニンノ民主主義論 ― カウツキイトノ論戦・純粋ナモクラシー ―

(5) スターリン ― 純粋ナ制度 ― 党大会、総大会ナシ ―

ポリトビュロー ― ―

(6) 一国社会主義 ― 国家、国民、社会主義 ― 一国共産主義モ可能

(7) ソ連国家ノ批判

一、共産党ヲ攻撃セネバナラン—
二、経済ニ勢力ヲ伸バセ—
三、国家的自立—自衛軍隊—
四、資本主義勢力攻撃—生産手段、私有財産否認—
五、社会党ニ入リ地方ヲ握ル—
六、職員層ヲ握レ—
七、民同派ヲツカメ—
八、組合幹部ニ同志ヲモツ—
九、宗教団体トノ関連—
一〇、諸外国関係—

以下
13丁
白紙

Babeuf Babeuf Craft union 20,000

industrial union Union

杉尾	4000	中村	1,000	家賃	5,000
前田	5000	松下	1,000		
武田	2000	菊地	1,000		
侍	3000	三好	.500		18,500
池田	2500	宮島	2,000		9,000
横山	2000	大陸	1,500		5,000
	18,500	矢部	2,000		32,500
			9,000		

早稲田大學圖書館

Ricardo

Ballpen

Ballpencub

佐

交錯

風間

大古

早稻田大學圖書館

八 水田印行